

一関さやか



📷 アメリカマナティー / アメリカ

北海道生まれ。北海道大学水産学部卒業後、医療系メーカーに就職し12年間研究業務に従事。20歳の時にスキューバダイビングを始め、趣味で始めた水中撮影を通して水中世界に魅せられる。撮影に集中するべく2022年退職、2023年からプロのカメラマンとして活動をスタート。南国から氷の下、川まで世界中で「生き物たちの生きる場所を生身で体感する」ことに重きを置き作品作りをしている。

WEB : <https://ocean-traveler.net/>
Instagram : @sayaka_ichi_uw

香川美穂



📷 エンペラーペンギン
南極・オセアニアの亜南極の島々

徳島県生まれ。大学在学中に夜間専門学校に通い、写真やデザインを学ぶ。イギリス留学を機に海外旅行をし始め、これまでに訪れた国は50カ国以上にのぼる。南極のエンペラーペンギンとの出会いから本格的に動物を撮影し始め、2016年よりフリーの写真家として活動を開始。旅行と写真をライフワークとし、世界各地の自然や動物を撮影している。

WEB : <https://weaveworld.jp/>
Instagram : @miho.kagawa

中村恵美



📷 ジャイアントパンダ / 中国

東京都生まれ。初めてフィールドへ出て撮影したのが、1998年の秋。ノルウェーのロフォーテン諸島にて、野生のシャチと出逢う。以降、自然や野生動物に魅せられ、南極、北極などの極地、南米、中南米、アフリカ、アマゾンなどの熱帯雨林、絶滅宣言されたアホウドリ保全の無人島調査に参加。近年では中国の四川省、雲南省などで中国固有の野生動物や、保護施設内のジャイアントパンダの撮影を実施。国内外各地で地球と動物をテーマにフリーランスとして活動している。

WEB : <http://eminakamura.jp/>
Instagram : @emina001

大島淳之



📷 ヤクシマザル・ヤクシカ / 日本

1982年、長野県生まれ。ニホンザルを中心に野生動物を撮影。動物たちの日常を継続的に観察し、心に響いた瞬間を写真に切り取っている。屋久島のヤクシマザルとヤクシカに関する調査・研究にも積極的に参画している。また、ヒトと暮らすペットや街角に生きる野良猫の撮影をライフワークとし、人間や人間社会に寄り添って生きる動物たちの姿を、写真や映像に記録している。

WEB : <http://www.atykosm.jp/>
Instagram : 野生動物 @atykosm、猫 @atykosm_9cats

柏倉陽介



📷 ボルネオオランウータン / マレーシア

1978年、山形県生まれ。大学時代、冒険部に所属して国内外様々な場所に赴く。出版社勤務を経て26歳よりカメラマンとして活動開始。撮影分野は自然風景、動物、環境保護など多岐にわたる。文明と野生の衝突帯に生きるオランウータンのリハビリテーション風景の作品発表を継続的に実施している。

WEB : <https://www.yosukekashiwakura.com>
Instagram : @yosuke_kashiwakura

山口大志



📷 ペニコンゴウインコ / ペルー

1975年、佐賀県生まれ。幼少時代から昆虫採集や熱帯魚の飼育に夢中になり、自然への興味から1993年に石垣島、西表島に移住、7年間を過ごす。この間、環境省西表野生生物保護センターに非常勤勤務。2004年から4年半、写真家三好和義に師事後、独立。2010年、オーストラリア、ウーメラ砂漠で、小惑星探査機「はやぶさ」が地球へ帰還する決定的瞬間を撮影。この頃から本格的に、南米アマゾンでの取材に取り組む。現在、西表島をテーマに撮影している。

WEB : <https://hiroshi-yamaguchi.com/>
Instagram : @164.photo

大竹英洋



📷 ホッキョクグマ / カナダ

1975年、京都府生まれ。一橋大学社会学部卒業。在学中はワンダーフォーゲル部に所属し、沢登りや、ネパールとパタゴニアでトレッキングに親しむ。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに、野生動物、旅、人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作し、国内外の新聞、雑誌、写真絵本で発表を続けている。

WEB : <http://www.hidehiro-otake.net/>
Instagram : @hidehirootake

篠田岬輝



📷 マンドリル / ガボン

1990年、東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、米国会計系コンサルティング会社に就職。アフリカで目の当たりにした動物の生き様に魅せられ、動物写真家の道を目指して独立。2017年より写真家としての活動を本格化。アフリカ、アジア、北極圏・南極圏など、世界各国で地球の表情と野生動物の感情を中心に撮影している。

WEB : <https://kokis.jp/>
Instagram : @kokishnd

山田耕熙



📷 ベンガルタイガー / インド

1979年、神奈川県生まれ。自然ドキュメンタリー番組に衝撃を受けたことをきっかけに、自分の目で世界を確かめるべく旅をはじめ。これまでに、南極、北極、アラスカ、アフリカ、ガラパゴス諸島などでさまざまな生き物たちを撮影。近年は“人と野生動物たちが一緒に未来へ行く”ということテーマに、インド・ランタンボール国立公園で野生の虎の姿を追っている。

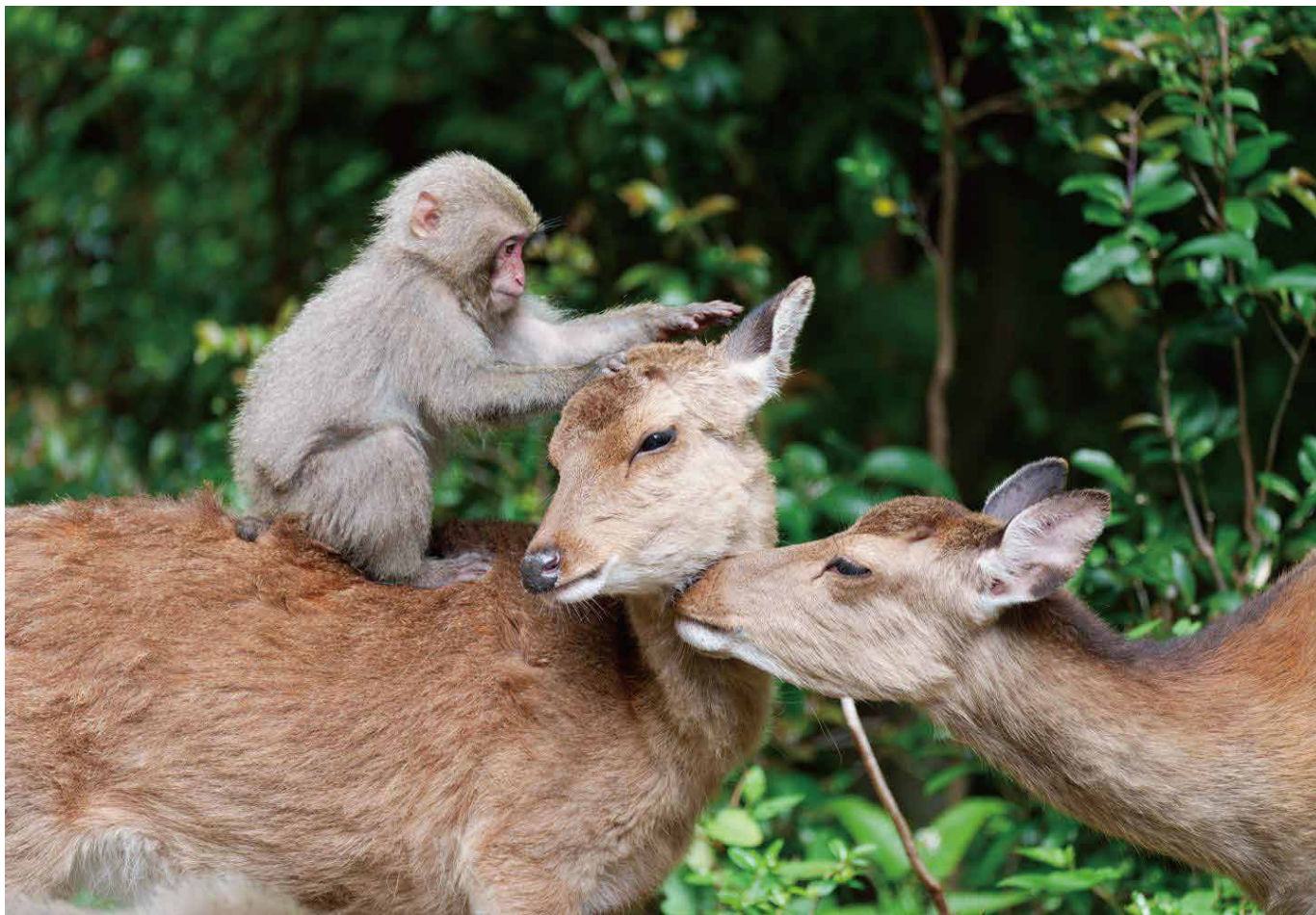
WEB : <https://koki-yamada.jp>
Instagram : @koki_yamada_photography

フジフィルム
スクエア
企画写真展

9人の写真家による

希望

みんなで考える動物の未来



2026.7.17(金) - 8.5(水)

写真家：一関さやか、大島淳之、大竹英洋、香川美穂、柏倉陽介、篠田岬輝、中村恵美、山口大志、山田耕熙

同時開催

夏休み自由研究イベント「動物と環境のふしぎ」

10:00-19:00 (入館は終了10分前まで)

富士フィルムフォトサロン 大阪 スペース1・2・ホワイエ

主催：富士フィルム株式会社

企画：株式会社クレヴィス、写真家 篠田岬輝

後援：大阪市教育委員会

監修：一般財団法人 自然環境研究センター

FUJIFILM SQUARE

会期中無休・入館無料

1 写真家によるトークショー 〔参加無料・各回定員120名・事前予約制〕

7.19 (日) 13:00-14:00 (受付開始 12:30)

テーマ1 北極と南極、厳しい環境に生きる動物
講師：大竹英洋、香川美穂



15:30-16:30 (受付開始 15:00)

テーマ2 人の近くで暮らしている動物
講師：一関さやか、大島淳之



7.20 (月・祝) 13:00-14:00 (受付開始 12:30)

テーマ3 「守る」ってどういうこと？人気動物の現在
講師：中村恵美、山田耕熙



15:30-16:30 (受付開始 15:00)

テーマ4 神秘の世界、熱帯雨林の動物
講師：篠田岬輝、山口大志



会場：富士フィルムフォトサロン 大阪 会議室

※前方の座席は、小中学生と保護者の方を優先とさせていただきます。

申込：事前申込制（先着順）

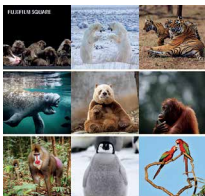
特典：参加者には、本展特製ポストカードをプレゼント！ ※各回お一人様1枚まで。絵柄はお選びいただけません。

各トークショーの二次元コード(上)よりお申込みください。

※詳細・申込フォームは6月以降にご案内いたします。

2 来館記念プレゼント

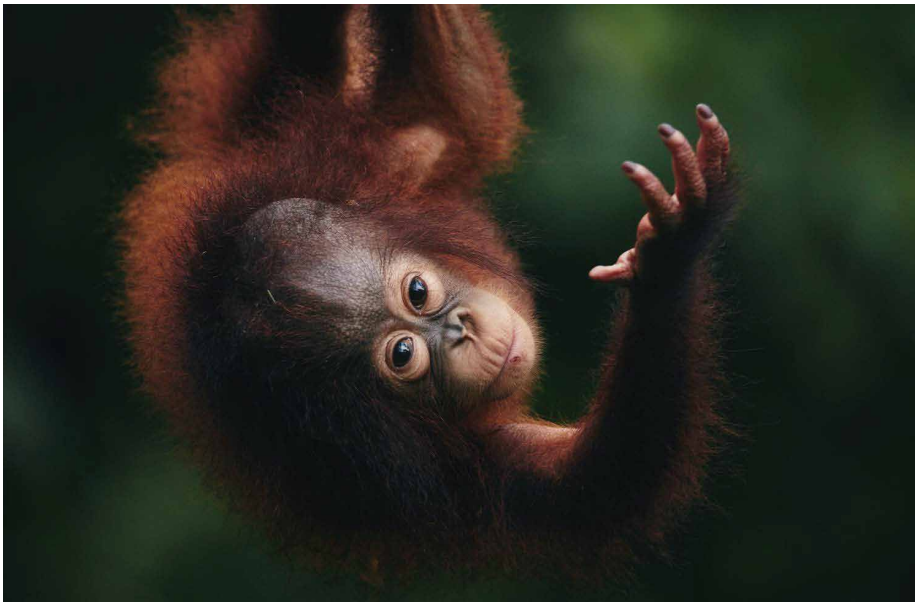
「みんなで考える動物の未来クイズ！」



〔参加無料・予約不要〕

展示期間中、会場にてクイズ用紙と解答を配布！

※無くなり次第終了



写真家たちは、各地で野生動物を撮影する中で、動物たちにとって自然環境が「危機的な状況」であることを身をもって感じています。一方、さまざまな手段でそこに暮らす動物や生息環境を守ろうとする人々の活動によって、生息数の拡大や自然環境の回復などの一定の成果も目撃してきました。写真家たちは、今自分たちに見えている世界がそうしたさまざまな努力の上に成り立っている貴重なものであることを知り、そのかけがえのない瞬間が一番美しく見えるように撮影を心掛けています。

野生動物とその生息環境の保全は、簡単にできるものではありませんが、人間が行動を起こさなければ動物たちの数がますます減っていくことが危惧されています。野生動物の「希望」の側面に光を当てた写真展を通して、世界が動物や生息環境のために何をしているかを知っていただくとともに、SDGs*の取り組みを通して、自分には何ができるのかを一人ひとりにポジティブに考えて（実行して）いただくきっかけになれば幸いです。



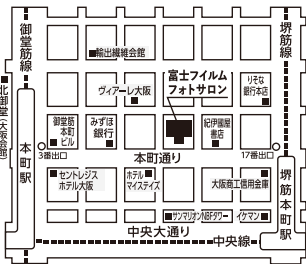
*SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年に国連総会で採択された、2030年までに国際社会が社会課題として取り組むべき「持続可能な開発目標」です。貧困、不平等・不正義の是正、健康、教育、働きがい、気候・環境など17の目標と169のターゲットが定められています。目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」に掲げられた取り組みは、本展に通じるものです。動物や自然環境に関する写真を通じて、SDGsについて考えるきっかけになれば幸いです。

「フジフィルム スクエア」の活動は、公益社団法人企業メセナ協議会主催の「メセナアワード2025」において、優秀賞「写真文化の継承と若手写真家の育成」を受賞しました。①「富士フィルムフォトサロン」の運営、②「写真歴史博物館」の運営、③「若手写真家応援プロジェクト」の実施、④「フジフィルム・フォトコレクションII」の収蔵・展示の4つの活動が総合的に評価されたものです。

※写真展・イベントはやむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。※祝花は固くお断り申し上げます。※イベントや展示会場での様子は、記録撮影させていただくとともに、当館の活動報告や広報目的で公開させていただく場合がございます。予めご了承ください。

富士フィルムフォトサロン 大阪
〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7
メットライフ本町スクエア（旧大阪丸紅ビル）1F
Tel: 06-6205-8000（受付時間：平日10:00～18:00）

交通案内
地下鉄 御堂筋線「本町」駅下車
3番出口より徒歩5分
地下鉄 堺筋線「堺筋本町」駅下車
17番出口より徒歩3分



野生動物と向き合うたびに、動物たちが持つ豊かな感情や強い生命力に心を打たれます。その「命」は、私たち人間の命となんら変わらないのだと、常に実感させられます。そしてフィールドでの撮影を重ねる中で、動物たちが暮らす環境や直面するさまざまな課題を、より深く意識するようになりました。生息地の減少や気候変動、人間との関係といった課題が、目の前の命の問題として迫ってきました。一方で、保護に向けた人々の努力にも数多く出会いました。密猟防止のパトロール、保護に向けた調査活動、地域社会への教育など、さまざまな取り組みが世界の各地で希望の芽として息づいています。

本展のテーマは「希望」です。動物たちの生きる姿、人間との関わり、そしてそれを守ろうとする人々の想いを、写真を通じて感じ取っていただければと思います。

動物や生息環境を守る方法の一つではありません。9名の写真家が捉えた、「世界中で生まれつつある「希望」の姿を見つめながら、「自分にできること」を一緒に考えていただけたら幸いです。

篠田 岬輝

一般財団法人 自然環境研究センター

人間社会と自然、野生生物との共生・共生を理念に、1978年に設立。以来、この分野のバイオニアとして、自然科学と政策科学を結びつけることを目標に、各種の生態系、自然遺産地域や多様な生物種を対象に調査研究を積み重ね、情報の収集・整理や提供を進めている。同時に、これらの分野に関わる国際協力や人材育成などの事業にも参画。自然環境保全のためのプロ集団として、人間社会と自然の共存を目指して、科学的データに基づいた政策提言を進めている。

WEB：http://www.jwrc.or.jp/

理事長 三浦 慎悟

撮影地



中国
ジャイアントパンダ [6]
©中村恵美

インド
ベンガルタイガー [7]
©山田耕熙

ガボン
マンドリル [1]
©篠田岬輝

マレーシア
ボルネオオランウータン [4]
©柏倉陽介

日本
ヤクシマザル、ヤクシカ [表面下]
©大島淳之

カナダ
ホッキョクグマ [表面上]
©大竹英洋

アメリカ
アメリカマナティー [2]
©一関さやか

ペルー
ペニコゴウインコ [3]
©山口大志

南極 エンペラーペンギン [5] ©香川美穂